

日常の活動と過去を忘れない活動の融合で、安全最優先の文化を構築

CCCF活動（徹底的に調べ、徹底的に見つけ出す活動：危険撲滅やりきり活動）やプロセス評価活動などの「日常の活動」に加え、模擬体験活動などの「過去を忘れない活動」を組み合わせ、人材育成に取り組んでいる。

日野自動車株式会社日野工場・東京

トヨタグループのトラック・バス部門を担うメーカーとして知られる日野自動車。日野工場は、東京都内にあつて本社含め、約43万平方メートルの広大な敷地を有し、約2,500人が5部門のラインでトラックやエンジンの生産に従事する大工場である。

大工場だけあつて、安全活動の取り組みは盛りだくさん。広範な活動が展開されている。その特徴は、「日常の活動」と「過去を忘れない活動」をうまく融合させ、安全最優先の安全文化の構築を目指していることである。

ヒヤリハットやKY活動に根差したCCCF活動を日常的に展開

現場ラインでの安全活動の1つの核になっているのが、CCCF活動（Completely Check Completely Find Out：徹底的に調べ、徹底的に見つけ出す活動）である。横文字では少々わかりにくいということから、「危険撲滅やりきり活動」という表現に置き換えて活動している。

CCCF活動は、(1)危険箇所の発見と排除、(2)一人ひとりの意識を上げる（全員で）、(3)コミュニケーションの活性化、の3点を目的とし、以下の4つの柱で構成されている。

- 1つ目の柱 テーマを決め、徹底的に吸い上げ
- 2つ目の柱 小集団で実施
- 3つ目の柱 吸い上げた項目をリスク評価（リスクアセスメント）実施
- 4つ目の柱 上長の現地現物確認及び指導

表1 CCCF 吸い上げシート

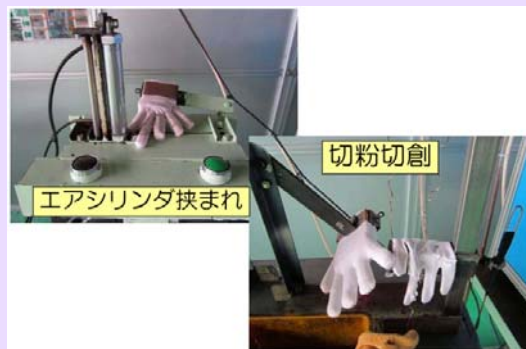
模擬体験の1例－大型車による災害模擬体験(イラスト化したもの)



「安全の日」での模擬体験風景



安全道場に設置された模擬体験装置の例(挟まれ、切創)



トラック生産工場という性格上、日野工場では、①挟まれ、②転落、③感電、④爆発、⑤火傷、⑥車両との接触等、を重大災害につながりやすい事象と位置づけ、その撲滅を「STOP6」として重視しているが、そのほかにも、切創、つまずき、目に異物が入るなど、職場固有の災害もあり、「CCCF吸い上げシート」(表1)を使って危険要因を吸い上げている。ヒヤリハット(日野工場では「2H」と称している)活動やKY(危険予知)活動の手法である。

この取り組みを、OJT的教育の観点から新入社員や若手社員、期間従業員を含めた5～10人の小集団で、職場のリーダーを中心として日常的に展開し、危険箇所を見つける目を養ったり、危険な行動を抑制することなどに生かしている。

吸い上げた危険要因は、職場ごとに作成している様式(表2)に職長がまとめ上げるが、その際には、吸い上げた現象に対するリスクアセスメント評価を行うとともに、対策の実施者、実施期限、完了日なども決定する。

シートで安全活動を評価し、レーダーチャートで「見える化」

現場での安全に対する「日常の活動」を総合的に評価するのが、「プロセス評価活動」

である。ゲガの件数で活動を評価するのではなく、活動のプロセスを評価しようという観点に立った施策である。前述のCCCCF活動とこのプロセス評価活動は別個に進められるのではなく、プロセス評価活動の対象にCCCCF活動も含まれているという関係にある。

プロセス評価の骨格となっているのが、安全プロセスシート（表3）である。シートは基本項目と重点項目に大きく区分されており、評価項目ごとに問いかけ形式の文章になった評価内容とその評価基準が示され、点数化して評価が行われる。

シートの内容は年度ごとに見直し・改定が行われるが、その時点での日野工場における安全管理のマニュアル兼チェックリストであるともいえよう。

毎月、職長を単位とする職場ごとに評価を行い、100点満点中の何点であるかが数値で表される。評価結果は、各「評価項目」を1つの角とした六角形のレーダーチャートにパーセンテージがプロットされ、達成度合いが時系列的（月別）に、「見える化」される。

過去の災害を風化させないために、「安全の日」に擬似体験

日野自動車では、5月8日を「安全の日」と定めている。過去に社内で重大災害が発生した日であり、災害を風化させないことが「安全の日」設定の趣旨である。

この日を含めて3日間、日野工場内のヤードでは、1回に約500人、1日2回、計6回、約3,000人の社員や従業員全員が参加する、労働災害の「模擬体験」が平成21年から工長会主体で実施されている。

車両や人形を使って過去に発生した災害の場面を再現するものであり、災害発生の瞬間を目の当たりにすることによって、「事故は怖い」「事故に遭ってはいけない」「事故を起こしてはいけない」という強い動機づけとなる。それが、「しっかりと安全を守ろう」という安全意識の高揚をもたらしている。

部ごとの「安全道場」では自作機械で模擬体験

災害の模擬体験は職場でも行われている。日野工場には、組立部、機械部、ボデー製造部など、5つの部があり、それぞれの部に「安全道場」（かなりのスペースを持った部屋・空間）が設けられている。そこに設置・活用されているのが、災害の模擬体験装置である。

部によって作業内容や使用する機械・設備が異なるため、実際に現場で行う作業に応じた模擬体験装置を各部で製作して設置している。身体の一部を模して製作した教材が機械に挟まれてつぶれたりする場面などを間近に見ることができるため、新入社員や配属された期間従業員には必ず模擬体験を実施し、正しい作業方法を体得させている。

このようにさまざまな方法を駆使して、徹底的な危険箇所の改善活動と安全意識の高い人材の育成を行っている。

記入例

平成 年 月 日

2H(ヒヤリハット)・KY(危険予知)活動及び リスクアセスメント活動報告

課・G内安全衛生担当者→安全の番人 經由 部内安全衛生担当責任者【提出】稼働7日までに



No	抽出日	抽出者	STEP I		STEP II		STEP III		STEP IV		STEP V										
			危険有害要因の洗い出し		危険要因作業分析		リスクの見極め		リスク低減対策		リスク対策の決定										
			設備・場所・作業	抽出内容	2H	KY	ケガの発生可能性	リスクレベル	ケガの発生可能性	リスクレベル	いつまでに	誰が	対策完了日								
1	2/13		設備: S/M固定式溶接機 場所: S/Mセンター-Assy 作業: スポット溶接作業	向が～なで～になる(なくなった) ワークセット時 部品棚に当り 落としそうになった。	○		1	4	1	6	II	私だったら こうする(こうしたい) (こうしてほしい)	部品棚の位置を 300mm移動した事で 部品棚に当たらなくなった	1	1	3	I	2月13日	2月13日	2月13日	
2	2/14		設備: プレス 場所: 型置き場 作業: 型運搬	2段積み型の型が ずれていて 落ちる恐れがある			1	6	10	18	IV	型のずれを直し レーンマンに正熟位置に置くように 再教育をした	型のずれを直し レーンマンに正熟位置に置くように 再教育をした	1	1	10	12	III	2月14日	2月14日	2月14日
3	2/15		設備: 塵埃コンベア 場所: 1工程 作業: ドア外し作業	床面に垂れ下がっているので 引っ掛かり強さそう								エアホースを	エアホースを						2月15日	2月15日	2月15日
リスクアセスメント評価出来る物とした																					
小計											1	0	0	2							

評価	レベル
リスクポイント	
13点～20点	IV
8点～12点	III
5点～7点	II
3点～4点	I

A. 危険に近い頻度

頻 率 : 4点
場 所 : 2点
収 入 : 1点

B. ケガの可能性

発生がある
可能性が高い
可能性がある
可能性が低い

6点
4点
2点
1点

C. ケガの程度

死亡・重傷(後遺症が残り)
・失明(足指切断)
・体傷(骨折)
・軽傷(擦傷)

10点
6点
3点
1点

※各作業のリスク評価を行う際の前提条件

◆基本原則

- 標準作業手順に沿って作業が行われている。
- 安全に関する基本的な教育・訓練をしている。
- 定められた道具を使用し、保護具を着用している。
- 部外者が無断で立ち入る事が出来なくなっている。

表3 安全プロセスシート(抜粋)

評価対象職場	評価項目	評価内容	部 課 組 班		評価基準	評価結果	評価理由	評価項目	評価結果	評価理由	評価項目	評価結果	評価理由
			X	A									
1 安全意識の高揚	1) 挨拶運動が積極的に行われているか	実施状況が50%未満	身だしなみの悪い人が20%以上居る	実施状況が80%未満	身だしなみの悪い人が10%以上居る	実施状況が80%以上	0	1	0	1	0	1	
	2) 身だしなみはよいか(参考:髪型、ズボンのすそまくり、履パン等)	身だしなみの悪い人が20%以上居る	作業着からの悪臭がある	作業着からの悪臭がある	作業着からの悪臭がある	作業着からの悪臭がない	0	1	0	1	0	1	
	3) 安全対話集話が充実しているか	連絡事項の場になっていない	吸上げは実施しているが改善は50%未満である	吸上げは実施しているが改善は80%未満である	吸上げは実施しているが改善は80%未満である	吸上げは実施しており改善は80%以上実施している	0	2	0	2	0	2	
	4) ヒヤリハット提案が積極的に吸上げられているか	実施しているが記録がない	実施しているが記録がない	実施しているが記録がない	実施しているが記録がない	全員の実施教育記録がある	0	2	0	2	0	2	
	5) 新規雇者の安全衛生教育訓練を実施している記録があるか	実施しているが記録がない	実施しているが記録がない	実施しているが記録がない	実施しているが記録がない	全員の実施教育記録がある	0	2	0	2	0	2	
2 安全動作	1) 定期的な安全パトロールを実施しているか	実施しているが記録がない	実施しているが記録がない	実施しているが記録がない	実施しているが記録がない	実施しているが記録がある	0	2	0	2	0	2	
	2) 危険な動作をしていないか(運び手/無理な姿勢/走る/慌てる)	危険な動作が存在する	危険な動作が存在する	危険な動作が存在する	危険な動作が存在しない	危険な動作は存在しない	0	2	0	2	0	2	
	3) 新人の動作観察が実施されている記録があるか	実施していない	実施していない	実施していない	実施しているが記録がない	全員の観察記録がある	0	2	0	2	0	2	
3 3S活動	4) 理地建物で危険箇所の教育を実施しているか	危険箇所があるが改善計画が50%未満	危険箇所があるが改善計画が50%未満	危険箇所があるが改善計画が50%未満	危険箇所があるが改善計画が80%以上実施している	安全ポイントを活用し定期的に教育を実施している	0	2	0	2	0	2	
	5) 通路等の段差でつまずき全員参加の3S活動が実施されているか	ほとんどしていない	ほとんどしていない	ほとんどしていない	改善効果が上がっている	定期的な教育を実施している	0	2	0	2	0	2	
	1) 計画に基づき全員参加の3S活動が実施されているか	危険箇所があるが改善計画で完了50%未満	危険箇所があるが改善計画で完了50%未満	危険箇所があるが改善計画で完了50%未満	危険箇所があるが改善計画で完了80%未満	危険箇所があるが改善計画で完了80%以上	0	2	0	2	0	2	45点
4 無災害記録再発防止対策	2) 床面の滑る危険箇所はないか	危険箇所があるが改善計画で完了50%未満	危険箇所があるが改善計画で完了50%未満	危険箇所があるが改善計画で完了50%未満	危険箇所があるが改善計画で完了80%未満	危険箇所があるが改善計画で完了80%以上	0	2	0	2	0	2	45点
	3) 休憩所の管理ルールがあるか	管理ルールがない	管理ルールがない	管理ルールがない	ルールはあるが守られていない	ルールを守られている	0	2	0	2	0	2	
	1) 災害ニュースが掲示され職場内で類似災害防止がされているか	掲示されていない	掲示されていない	掲示されていない	掲示されている	自職場に置き換えて類似災害防止の展開が掲示され、全員が確認している	0	2	0	2	0	2	
5 設備の安全点検	2) 自職場で発生した災害の再発防止が維持・管理されているか	再発防止策がされていない	再発防止策がされていない	再発防止策がされていない	再発防止策が維持されている	定期的な維持・教育している	0	2	0	2	0	2	
	3) 無災害記録は何年間ですか(不体以上)	1年未満	1年未満	1年未満	1年以上~3年未満	3年以上	0	1	0	1	0	1	
	4) 過去3ヶ月があるか	掲示されていない	掲示されていない	掲示されていない	掲示されている	掲示され定期的に改定を行っている	0	2	0	2	0	2	
6 保護具・安全器具	5) 火災発生危険箇所のマップがあるか	掲示されていない	掲示されていない	掲示されていない	掲示されている	掲示され定期的に改定を行っている	0	2	0	2	0	2	
	1) 安全装置や安全警報器の作動試験を定期的に点検しているか	定期的な点検実施していない	定期的な点検実施していない	定期的な点検実施していない	定期的な点検実施しているが、不具合箇所が残っている	定期的な点検実施しており、不具合もない	0	2	0	2	0	2	
	2) 自職場で使用している設備の始業点検を実施しているか	点検を実施していない	点検を実施していない	点検を実施していない	点検を実施しているが、不具合箇所があるが暫定処置される	点検を実施しており、不具合もない	0	2	0	2	0	2	
6 保護具・安全器具	3) 安全カバー・安全網の不具合がないか	不具合があるが暫定処置も実施	不具合があるが暫定処置も実施	不具合があるが暫定処置も実施	不具合があるが暫定処置も実施	不具合箇所はない	0	2	0	2	0	2	
	1) ラインの保護具着用基準が表示され正しく使用されているか	表示されていない	表示されていない	表示されていない	表示されているが正しく使用されていない	表示されており、正しく使用されている	0	2	0	2	0	2	
	2) ロックアウト管理板で運用されているか	管理板で運用していない	管理板で運用していない	管理板で運用していない	管理板で運用しているが運用ルールが守られていない	管理板で運用しており、運用ルールが守られている	0	2	0	2	0	2	
3) 異常如指番号が「スイッチ入れるな」の札を正しく使っているか	「スイッチ入れるな」の札を保持していない	「スイッチ入れるな」の札を保持していない	「スイッチ入れるな」の札を保持していない	「スイッチ入れるな」の札を保持していない	「スイッチ入れるな」の札を常に携帯している	常に携帯し正しく使用している	0	2	0	2	0	2	